



2019年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2018年10月31日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社 ドウシシャ

コード番号 7483 URL <http://www.doshisha.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 兼 最高執行責任者 (氏名) 野村 正幸

問合せ先責任者 (役職名) 取締役 兼 執行役員 (財務経理、貿易業務、業務管理、審査担当役員) (氏名) 松本 崇裕 TEL 06-6121-5669

四半期報告書提出予定日 2018年11月12日 配当支払開始予定日 2018年12月10日

四半期決算補足説明資料作成の有無: 無

四半期決算説明会開催の有無: 有 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 2019年3月期第2四半期の連結業績 (2018年4月1日～2018年9月30日)

(1) 連結経営成績 (累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2019年3月期第2四半期	48,477	△3.9	2,758	△26.8	2,845	△26.7	1,861	△29.7
2018年3月期第2四半期	50,426	△1.0	3,769	9.1	3,882	16.7	2,645	19.6

(注) 包括利益 2019年3月期第2四半期 2,515百万円 (△22.0%) 2018年3月期第2四半期 3,222百万円 (209.5%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2019年3月期第2四半期	50.08	50.03
2018年3月期第2四半期	74.08	73.61

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2019年3月期第2四半期	88,919	69,114	76.5	1,823.44
2018年3月期	86,985	66,594	75.5	1,778.84

(参考) 自己資本 2019年3月期第2四半期 68,009百万円 2018年3月期 65,687百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2018年3月期	—	25.00	—	25.00	50.00
2019年3月期	—	25.00	—	—	—
2019年3月期 (予想)	—	—	—	25.00	50.00

(注) 直前に公表されている配当予想からの修正の有無: 無

3. 2019年3月期の連結業績予想（2018年4月1日～2019年3月31日）

（%表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	104,000	0.4	6,900	△11.2	7,000	△12.5	4,650	△15.3	124.92

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無： 有

※ 注記事項

（1）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無
新規 ー社 （社名）ー、除外 ー社 （社名）ー

（2）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 無

（3）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

（4）発行済株式数（普通株式）

- ① 期末発行済株式数（自己株式を含む）
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数（四半期累計）

2019年3月期2Q	37,375,636株	2018年3月期	37,375,636株
2019年3月期2Q	78,408株	2018年3月期	448,808株
2019年3月期2Q	37,161,770株	2018年3月期2Q	35,716,413株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P.4「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	8
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	9
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10
(追加情報)	10
(セグメント情報等)	11

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間における我が国経済は、企業収益や雇用環境は改善傾向にあり、緩やかな景気回復基調にあるものの、中国を始めとするアジア新興国等の経済の先行きや米中貿易摩擦の激化懸念などによる世界経済の不確実性の影響もあり、依然として先行き不透明な状況で推移いたしました。当社グループが身を置く流通業界におきましても、差別化を求めて業種業態を越えた販売競争の激化等の影響により、厳しい状態が続いております。

このような状況下、当社グループといたしましては、2019年3月期の経営方針として、『強みをいかして収益力を高めよう！～世界に2つとない会社になる為に～』を掲げ、グループシナジー効果を活かして、現場主権・変化対応型経営・横串強化といった諸施策により、さらなる企業価値の向上を目指しております。

当第2四半期連結累計期間においては、大規模な地震・台風の発生や記録的な豪雨など相次ぐ自然災害、および個人消費マインドに冷え込みが見られ、販売面で影響がありました。

その結果、当第2四半期連結累計期間の業績は、売上高48,477百万円(前年同期比96.1%)、売上総利益13,268百万円(前年同期比98.5%)、販売費及び一般管理費10,510百万円(前年同期比108.4%)、営業利益2,758百万円(前年同期比73.2%)、経常利益2,845百万円(前年同期比73.3%)、親会社株主に帰属する四半期純利益1,861百万円(前年同期比70.3%)となりました。

販売費及び一般管理費については、物流費の増加等により、前年同期を上回る結果となりましたが、今後、提携先倉庫を含めた物流センターの配置見直し、適正地出荷、物流管理システムの高度化に努めてまいります。

セグメントの業績は、次のとおりです。

「開発型ビジネスモデル」

100円ショップ、300円ショップなどの均一商品関連では、バッグや服飾雑貨を中心に、利便性やデザイン性、価格の値ごろ感が消費者ニーズに合い、販売が伸長しました。特に近年、市場が拡大している300円ショップ向けの商品において、大きく販売が伸長しました。

家電関連では、夏季の記録的な猛暑の影響も追い風となり、扇風機「Kamome fan(カモメファン)」やファン機能付きの「LEDシーリングライトサーキュレーター」の販売が好調に推移したほか、シートマッサージャー「MOMILUX(もみラックス)」シリーズについても、健康志向の高まりもあり、テレビ通販を中心に販売が好調に推移しました。

ハウスウェア関連の氷かき器については、5月の天候不順により導入の遅れがありましたが、猛暑の影響もあり当第2四半期連結累計期間では前年同期を上回る水準で販売が好調に推移しました。

その一方、テレビ関連では、前第4四半期連結会計期間より、委託生産メーカーを見直し、「DOSHI SHA(ドゥシヤ)ブランド」を立ち上げました。利益面では前年同期より改善しましたが、まだ新規のブランドということもあり、売上高については、前年同期を下回る結果となりました。

その結果、当セグメントの売上高は24,580百万円(前年同期比102.7%)、セグメント利益1,612百万円(前年同期比92.3%)となりました。

「卸売型ビジネスモデル」

バッグ、時計、ジュエリーを扱う有名ブランド関連では、節約志向の高まりや大規模災害後の消費動向の変化の影響もあり、高額ブランド品の需要には厳しい環境となり、販売は前年同期を下回る結果となりました。

ブランド関連商品の需要を巻き返すため、最新の流行トレンドに合ったブランド戦略の強化、若年層に需要の高い中価格帯商品の取り扱い強化のほか、スマートウォッチなど新分野への商品展開強化を図ってまいります。また、販売戦略においても、ネット通販やブランド品専門店への販路拡大強化のほか、WEB広告やSNSを活用したデジタルマーケティングによる販促活動の強化等、各施策を行ってまいります。

ギフト関連では、家族や友人へ気軽に贈れるカジュアルギフトの広まりとともに、母の日ギフトなどのギフト市場の拡大に向けた販売強化を行ってまいりました。

その一方、中元ギフトに関しては、主にカニ缶などの海産物の減少がアソートギフトに影響を与え、売上高が前年同期を下回りました。今後のギフト市場については、カジュアルギフトのイベントの増加や、高齢化が進むことにより、贈り手の年齢層の高まりにより購入単価が上昇するなど、市場の拡大余地が見込まれます。それらの市場拡大に合わせ、デジタルカード型ギフトなど生活スタイルの変化に対応した新たな需要への取り組みを強化しております。また、当連結会計年度より、エリア別営業体制に移行し、地域に根付いたご当地ギフト商品の開発や得意先の地域性を活かした企画の提案の強化を行っております。

その他、当社オリジナルキャラクター「ごろねこサミット」シリーズのクッションが、テレビや雑誌、SNSなど各種メディアで取り上げられ、クッション以外にも衣類や雑貨等への商品展開を広げております。

その結果、当セグメントの売上高は22,388百万円（前年同期比89.8%）、セグメント利益1,191百万円（前年同期比64.0%）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第2四半期連結会計期間末における流動資産は66,872百万円となり、前連結会計年度末（64,694百万円）に比べ2,177百万円増加いたしました。これは主に、現金及び預金2,543百万円、商品及び製品695百万円の増加及び受取手形及び売掛金1,726百万円、電子記録債権136百万円の減少によるものであります。固定資産は22,046百万円となり、前連結会計年度末（22,291百万円）に比べ244百万円減少いたしました。これは主に、建設仮勘定279百万円の増加及び建物及び構築物（純額）194百万円、長期貸付金32百万円、投資その他の資産のその他256百万円の減少によるものであります。

この結果、総資産は、88,919百万円となり、前連結会計年度末（86,985百万円）に比べ1,933百万円増加いたしました。

(負債)

当第2四半期連結会計期間末における流動負債は10,560百万円となり、前連結会計年度末（11,093百万円）に比べ533百万円減少いたしました。これは主に、買掛金339百万円の増加及び未払法人税等657百万円、その他275百万円の減少によるものであります。固定負債は9,244百万円となり、前連結会計年度末（9,297百万円）に比べ52百万円減少いたしました。

(純資産)

当第2四半期連結会計期間末における純資産合計は69,114百万円となり、前連結会計年度末（66,594百万円）に比べ2,519百万円増加いたしました。これは主に、親会社株主に帰属する四半期純利益1,861百万円、ストックオプションの行使による自己株式の処分753百万円、繰延ヘッジ損益537百万円、非支配株主持分292百万円の増加及び剰余金の配当923百万円の減少によるものであります。

この結果、自己資本比率は、76.5%（前連結会計年度は75.5%）となりました。

(キャッシュ・フローの状況)

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物(以下「資金」という)は38,529百万円となり、前連結会計年度末より2,543百万円増加いたしました。

当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は、次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果増加した資金は2,817百万円(前年同期は4,539百万円の増加)となりました。これは主に、税金等調整前四半期純利益2,741百万円、売上債権の減少額1,881百万円、仕入債務の増加額323百万円による増加及びたな卸資産の増加額688百万円、法人税等の支払額1,429百万円による減少によるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果減少した資金は248百万円(前年同期は2,084百万円の減少)となりました。これは主に、貸付金の回収による収入143百万円による増加及び有形固定資産の取得による支出355百万円による減少によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果減少した資金は69百万円(前年同期は251百万円の増加)となりました。これは主に、ストックオプションの行使による収入707百万円、非支配株主からの払込みによる収入220百万円による増加及びリース債務の返済による支出55百万円、配当金の支払いによる支出923百万円による減少によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2019年3月期の連結業績予想につきましては、当第2四半期連結累計期間の業績を考慮し、2018年5月7日に公表いたしました通期の業績予想を修正しております。詳細については、本日(2018年10月31日)公表いたしました「2019年3月期第2四半期累計期間の業績予想と実績との差異及び通期業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2018年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2018年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	35,986	38,529
受取手形及び売掛金	15,828	14,101
電子記録債権	3,226	3,089
商品及び製品	8,368	9,063
短期貸付金	273	175
その他	1,016	1,930
貸倒引当金	△5	△18
流動資産合計	64,694	66,872
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	12,896	12,786
減価償却累計額	△4,145	△4,229
建物及び構築物 (純額)	8,751	8,556
土地	9,174	9,174
建設仮勘定	—	279
その他	2,585	2,648
減価償却累計額	△1,596	△1,676
その他 (純額)	989	972
有形固定資産合計	18,914	18,982
無形固定資産	127	122
投資その他の資産		
投資有価証券	1,776	1,758
長期貸付金	36	4
その他	1,449	1,193
貸倒引当金	△13	△13
投資その他の資産合計	3,249	2,942
固定資産合計	22,291	22,046
資産合計	86,985	88,919
負債の部		
流動負債		
買掛金	6,259	6,598
未払法人税等	1,534	877
役員賞与引当金	34	21
賞与引当金	26	25
固定資産撤去損失引当金	—	73
その他	3,238	2,963
流動負債合計	11,093	10,560
固定負債		
長期借入金	8,000	8,000
退職給付に係る負債	582	588
資産除去債務	58	9
環境対策引当金	55	48
その他	600	597
固定負債合計	9,297	9,244
負債合計	20,391	19,804

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (2018年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2018年9月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	4,993	4,993
資本剰余金	6,226	6,273
利益剰余金	55,458	56,396
自己株式	△913	△159
株主資本合計	65,763	67,503
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	380	354
繰延ヘッジ損益	△320	216
為替換算調整勘定	△11	43
退職給付に係る調整累計額	△124	△108
その他の包括利益累計額合計	△76	506
新株予約権	94	—
非支配株主持分	812	1,104
純資産合計	66,594	69,114
負債純資産合計	86,985	88,919

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2017年4月1日 至 2017年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)
売上高	50,426	48,477
売上原価	36,956	35,208
売上総利益	13,469	13,268
販売費及び一般管理費	9,700	10,510
営業利益	3,769	2,758
営業外収益		
受取利息	1	2
受取配当金	13	57
投資有価証券売却益	10	—
債務勘定整理益	20	8
為替差益	41	11
その他	53	45
営業外収益合計	139	125
営業外費用		
支払利息	2	2
支払手数料	13	9
その他	10	26
営業外費用合計	26	37
経常利益	3,882	2,845
特別利益		
新株予約権戻入益	3	—
受取保険金	—	24
特別利益合計	3	24
特別損失		
固定資産撤去損失引当金繰入額	—	73
減損損失	—	33
環境対策引当金繰入額	3	—
災害による損失	—	20
特別損失合計	3	127
税金等調整前四半期純利益	3,882	2,741
法人税、住民税及び事業税	1,175	797
法人税等調整額	△18	27
法人税等合計	1,157	825
四半期純利益	2,725	1,916
非支配株主に帰属する四半期純利益	79	55
親会社株主に帰属する四半期純利益	2,645	1,861

(四半期連結包括利益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2017年4月1日 至 2017年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)
四半期純利益	2,725	1,916
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	155	△26
繰延ヘッジ損益	301	537
為替換算調整勘定	22	70
退職給付に係る調整額	18	16
その他の包括利益合計	497	598
四半期包括利益	3,222	2,515
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	3,138	2,444
非支配株主に係る四半期包括利益	84	71

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2017年4月1日 至 2017年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	3,882	2,741
減価償却費	205	306
役員賞与引当金の増減額 (△は減少)	△29	△13
賞与引当金の増減額 (△は減少)	△11	△0
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△7	12
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	43	29
環境対策引当金の増減額 (△は減少)	3	—
固定資産撤去損失引当金の増減額 (△は減少)	—	73
減損損失	—	33
災害による損失	—	20
投資有価証券売却損益 (△は益)	△10	—
受取利息及び受取配当金	△14	△60
支払利息	2	2
売上債権の増減額 (△は増加)	637	1,881
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△499	△688
仕入債務の増減額 (△は減少)	1,918	323
未払消費税等の増減額 (△は減少)	△314	136
その他の流動資産の増減額 (△は増加)	△331	△588
その他の流動負債の増減額 (△は減少)	129	△24
その他	10	3
小計	5,613	4,189
利息及び配当金の受取額	14	60
利息の支払額	△0	△2
法人税等の支払額	△1,087	△1,429
営業活動によるキャッシュ・フロー	4,539	2,817
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△2,025	△355
投資有価証券の取得による支出	△9	△9
投資有価証券の売却による収入	10	—
貸付けによる支出	△43	△13
貸付金の回収による収入	8	143
その他の支出	△26	△14
その他の収入	1	0
投資活動によるキャッシュ・フロー	△2,084	△248
財務活動によるキャッシュ・フロー		
ストックオプションの行使による収入	1,416	707
リース債務の返済による支出	△42	△55
割賦債務の返済による支出	△15	△19
配当金の支払額	△886	△923
非支配株主への配当金の支払額	△219	—
非支配株主からの払込みによる収入	—	220
財務活動によるキャッシュ・フロー	251	△69
現金及び現金同等物に係る換算差額	8	45
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	2,716	2,543
現金及び現金同等物の期首残高	32,207	35,986
現金及び現金同等物の四半期末残高	34,923	38,529

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当社は、2014年6月27日開催の取締役会の決議に基づき付与されたストックオプションの権利行使に伴い、自己株式370,400株の処分を実施いたしました。この結果、当第2四半期連結累計期間において自己株式が753百万円減少し、当第2四半期連結会計期間末において自己株式が159百万円となっております。

(追加情報)

(「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」等の適用)

「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」(企業会計基準第28号 平成30年2月16日)等を第1四半期連結会計期間の期首から適用しており、繰延税金資産は投資その他の資産の区分に表示し、繰延税金負債は固定負債の区分に表示しております。当該表示の変更を反映させるため、前第2四半期連結累計期間及び前連結会計年度については、四半期連結財務諸表及び連結財務諸表の組替えを行っております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間 (自2017年4月1日 至2017年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位: 百万円)

	報告セグメント			その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結損益 計算書計上額 (注) 3
	開発型 ビジネスモデル	卸売型 ビジネスモデル	計				
売上高							
外部顧客への売上高	23,935	24,918	48,853	1,572	50,426	—	50,426
セグメント間の 内部売上高又は 振替高	—	—	—	4,328	4,328	△4,328	—
計	23,935	24,918	48,853	5,901	54,755	△4,328	50,426
セグメント利益	1,747	1,861	3,609	244	3,853	△84	3,769

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれていない事業セグメントであり、不動産事業、物流事業、介護福祉事業及び海外子会社等を含んでおります。

2. セグメント利益の調整額△84百万円は、セグメント間取引の消去93百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△119百万円及びその他調整額△58百万円が含まれております。全社費用は主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第2四半期連結累計期間 (自2018年4月1日 至2018年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位: 百万円)

	報告セグメント			その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結損益 計算書計上額 (注) 3
	開発型 ビジネスモデル	卸売型 ビジネスモデル	計				
売上高							
外部顧客への売上高	24,580	22,388	46,969	1,508	48,477	—	48,477
セグメント間の 内部売上高又は 振替高	—	—	—	5,042	5,042	△5,042	—
計	24,580	22,388	46,969	6,550	53,520	△5,042	48,477
セグメント利益	1,612	1,191	2,804	20	2,824	△66	2,758

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれていない事業セグメントであり、不動産事業、物流事業、介護福祉事業及び海外子会社等を含んでおります。

2. セグメント利益の調整額△66百万円は、セグメント間取引の消去57百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△119百万円及びその他調整額△4百万円が含まれております。全社費用は主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。